



建交労結成 20 年第 21 回定期大会開催 結成の原点に確信！要求・組織の前進を

結成 20 周年を迎えた建交労は、第 21 回定期大会を群馬県内で 8 月 31 日から開催、代議員・特別代議員など約 200 名が結集、神奈川からは伊藤県本部委員長、大島支部書記長、佐藤支部委員長、赤羽が参加しています。相木副委員長による開会挨拶につづき主催者挨拶に立った角田中央執行委員長は、建設一般・運輸一般・全動労の 3 単産が組織合同に至った時代背景や目的・闘争方向を打ち出した建交労結成大会の方針を紹介しながら



主催者挨拶を行う角田中央執行委員長



困難も多かった 20 年間の歩みのなかで築き上げてきた建交労の政策や運動に確信を持って要求闘争を前進させ強大な組織建設をすすめようと力強く呼びかけました。左の写真は建交労結成大会で議長を務められた方々です。

左から全動労選出の大窪秀範さん、運輸一般選出の山口幸男さん（山口さんは建交労機関誌の休憩室に歴史スポットを連載して頂いています）、そして建設一般選出・当時の角田季代子さんです。

つづいて来賓の方々からは、各分野の課題や安倍政権退陣を求める野党共闘・市民共闘の前進などの情勢にも触れながら建交労への連帯と激励のご挨拶を頂きました。

初日にご挨拶いただいたのは全労連・橋口副議長、交運共闘・高城議長、生公連・竹内議長、建設政策研究所・市村事務局長、日本共産党・武田参議院議員でした。（なお 2 日目には水口顧問弁護士、小池顧問弁護士からご挨拶がありました。）

その後、休憩をはさんで廣瀬肇書記長（右写真）から労働組合運動をめぐる情勢の進展や過年度の活動・運動の到達点などを含む 2019 年度運動方針案と 2019 年秋季年末闘争方針案などが提案され、鈴木書記次長からは会計決算報告・財政方針案が提案されました。

初日の最後は、各分野 5 人の代表（トンネルじん肺根絶闘争、福岡トラック部会、事業団・高齢者部会、全国青年部、中央女性部）が特別発言を行って休会しました（大会は本日最終日）。



建交労結成 20 周年記念パーティー

建交労中央本部は、大会 1 日目の休会後に建交労結成 20 周年の記念パーティーを開催し大会参加者全員で結成 20 周年を祝いました。

藤川拓全国青年部長の開会宣言で始まったパーティーは、森谷稔副委員長と山本由里子中央本部書記のコンビで進行し、来賓を含む代表者が 2 つの鏡割りをおこなって角田委員長による乾杯の発声でにぎやかに歓談がはじまりました。

パーティーに華を添えてくれたのは岩手県の盛岡から駆けつけて頂いた 5 人組のバンド“スイート・デヴィルズ”による演奏と歌でした。その演奏と當間治美沖縄県本部書記長の指導で中央執行委員と本部職員が“三線の花エイサー”をみごとに舞い、佐藤陵一 3 代委員長、藤好重泰 4 代委員長、赤羽数幸 5 代委員長、水口弁護士と小池弁護士の挨拶、全国の仲間を鼓舞する 92 歳の組合員・広島の高木昭代さんのスピーチなど、たのしい歓談・交流のひとつときはたちまち過ぎて最後は参加者全員が会場いっぱいになって腕を組み“がんばろう”を合唱して団結を固めました。

